

にじだより

NIJIDAYORI

別府リハビリテーションセンター
障害者支援施設にじ 広報誌

第22号

2023年7月



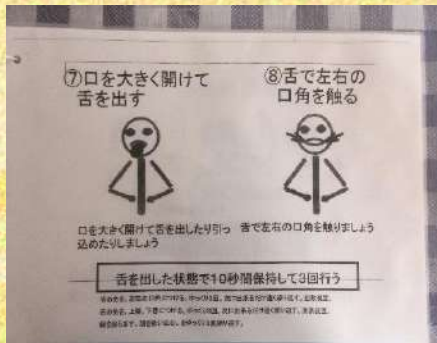
- ▶ コミュニケーションの訓練について
- ▶ にじの卒業生紹介～就労定着支援センターからの報告～
- ▶ にじ新職員の紹介

コミュニケーションの訓練について

「にじ」では失語症の方を対象とした訓練の1つとして、コミュニケーション能力の向上を目的とした訓練を提供しています。

「失語症」とは脳の損傷により「話す」「聞く」「読む」「書く」ことが難しくなる症状です。失語症により、自分が伝えたいことを言葉にする、相手の言っていることを理解することが難しくなります。

訓練では嚙下体操（口の周りや舌の筋肉のストレッチ）、発声練習から始まります。



嚙下体操 口周りの運動



発声練習

しっかり準備運動をした後、「にじ」オリジナルの「会話ノート」を使って、コミュニケーション訓練を行います。

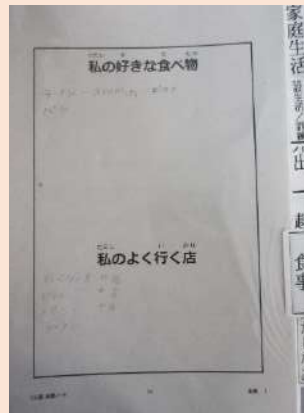
《会話ノートの活用例》



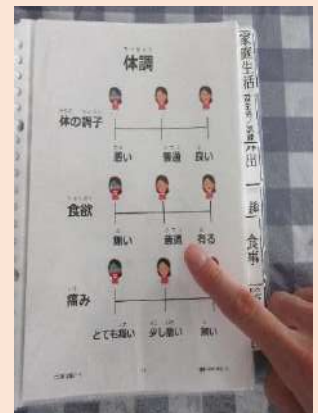
にじオリジナルの会話ノート



「好きな食べ物は？」
「スパゲッティ」



自分で記入します！



「体調は？」
「普通です」

会話ノートを使って「書く」「話す」というご自身の伝えたいことを表出するヒントを探します。絵と文字を見て、指差しや書くことで表現していただきます。

また会話ノートは、利用される方の名前や家族、仕事、住所、趣味、好きな食べ物などを記入していただき、**世界に一つしかない〇〇さんのノート**となります。

ご自身の思いが相手に伝わらない「もどかしさ」を失語症の方は感じられていると思います。この会話ノートがコミュニケーションの一助となるように取り組んでいます。

にじの卒業生紹介

～就労定着支援センターからの報告～



別府リハビリテーションセンターの病棟部門に就職をした40代Aさん、この春で1年が経ちました。現在の業務は、患者様の昼食のお茶の準備、テーブル拭き、消毒作業などを行っています。

にじの就労定着支援センターにおけるフォローは、就職して半年後より開始し、月に2回業務状況、体調、生活面について面談を実施しています。

Aさんは学校卒業後、在宅で静かに十数年過ごしていました。平成30年7月、社会復帰を目標に、障害者支援施設「にじ」に週3日通い始めました。最初は「体力作り」。その後入所し「生活」の訓練を行い、1年後には就労移行支援で週5日6時間の「働く」訓練を行いました。就労訓練では、清掃業務、訓練補助、施設管理など行いました。新型コロナウイルスの時期と重なり、消毒作業の業務も行いました。

にじの利用から3年が経過した令和4年4月に「人生初」の社会人となりました。そして1年3か月経った今も、毎日仕事を続けています。

そんなAさんにお話を聞きました。

Q：就労の訓練はどうでしたか？

A：「いろいろやったから今の仕事につながったかな」

Q：お給料の使い道は？

A：「ゲームのカセットとか、好きな飲み物です。」

Q：今の生活の楽しみは？

A：「ゲームかな。」

Q：これからの目標は？

A：「もっと体力をつけて、仕事を続けることです。」

Q：働き始めたこの1年間は どうでしたか？

A：「毎日、ばたばた大変だけど、給料も貰えて充実しています。
家に居た時よりも今がいい。」

「自分の仕事は、自分の一生を充実させるためにある」 (武者小路実篤)

Aさんが充実した生活を続けられるように、就労定着支援センターではサポートを続けていきます。

にじ新職員の紹介

なかはら ゆうたろう

中原 佑太郎（理学療法士）



Q：性格を一言でいうと？

A：とても誠実でまじめな性格を目指しています！

Q：自分をペットに例えると？

A：かわいい猫になりたいと思っています。

Q：にじで頑張りたいこと、取り組みたいことは？

A：利用者の皆さんの社会復帰に向けて頑張ります！

うえだ さき

上田 早紀（管理栄養士）



Q：最近のマイブームは？

A：アルコールインクアート。没頭できます。

Q：得意なことは？

A：餃子づくり（子供と一緒にしています）

Q：今年度の抱負をお願いします！

A：体力をつけること！いち早くにじでの仕事に慣れていきます！

まき ともみ

牧 智美（介護福祉士）



Q：性格を一言でいうと？

A：感受性が豊かで、泣いたり、笑ったり、落ち込んだり、忙しい性格です。

Q：楽しみにしていることは？

A：「食後のコーヒーとスイーツ」です。甘い物が好きなので、おすすめのスイーツを教えてください！

Q：にじの印象は？

A：笑顔があふれる場所で明るい印象を受けます。

ご相談・ご質問
お待ちしております！

入所担当：小野



【にじ入所の対象となる方】

社会復帰を目標とされる回復期リハビリテーション病棟を退院された方や地域で生活されている方で

- 18～65歳くらいまでの方
- おおむねトイレが自立されている方
- 常時医療行為が必要のない方
- 集団生活が出来る方
- 障害者手帳をお持ちの方、または申請予定の方
(手帳をお持ちでない方もお気軽にお問合せください)

社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター
障害者支援施設にじ

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10
TEL：0977-67-1716 FAX：0977-67-8576
URL：<https://brc.or.jp>

